

小型車両系建設機械の講習会を開催

富岡市管工事(協)

工事の際に使用する小型車両系建設機械について、原理や技術を学び、資格習得を目指すための講習会を開催。高崎市の群馬建機教習所から講師を招き、出張講習として組合で行われた。2日間の日程の中で、参加者は学科・実技講習を受講し必要な知識を身に付けた。

毎年、実施の検討はしていたものの調整がつかず、今年は久しぶりの開催が叶ったという同組合では、組合員のためにも、引き続き開催できるよう調整や実施に向けた取組みを続けていきたいと考えている。



実技講習で操作法を学ぶ受講者

チェコ大使館の料理長を招き講習会を開催

水上温泉旅館(協)

4月21日、みなかみ町・みなかみホテルジュラクにおいて、チェコ共和国大使館で料理長を務めるレオシュ＝カストル氏を招き、チェコ料理の講習会を開催した。

豚肉のビール煮込みや「ブランボラク」などのチェコの伝統料理5品の調理を実演し、通訳が手順や提供される場面などを説明した。完成した料理はその場で試食し、感想を語り合った。

組合では昨年よりみなかみとチェコをつなげる取組みを実施しており、本講習会もその一環である。第二部では、チェコ共和国大使館の書記官・ヴェロニカ＝ヴァニショヴァー氏が、チェコの歴史と文化について講演した。



料理の実演講習(左) チェコの歴史と文化の講演(右)

館林紬を使用したワークショップ開催

館林織物連合(協)

4月29日～5月5日にかけて、館林市・武鷹館にて開催された「つつじまつり」において、来場者向けにワークショップを実施した。

好きな柄の館林紬の生地を選び、フクロウを作成するもの。フェルトで目やクチバシなど作って貼り、最後に綿を詰めて完成する。

1回1～3人の少数の参加者で、山岸みえ理事が丁寧に手順を教える。20～30分の作業の合間に、雑談も交えられ、県外からの参加者に館林の歴史や付近の観光名所を紹介する場面もあった。

工程は同じでも目の位置や大きさで印象が大きく異なり、選んだ柄も違うため自分だけのフクロウができあがる。「不器用だから」と最初は自信がなさそうにしていた参加者も最後は笑顔で自身の作品を眺めていた。



雑談を交えつつ手順を伝える山岸理事(右奥)